

えーッ!
本当にイ?

ええ
この前のよりも
おいしかったもの

でもかれんが
手伝ってくれて
本当に助かるわア

くるみの作るお菓子とは
とてもおいしいから
おなか一杯で動けなく
なるんじゃない?

またそうやって
かばうんだから……
かれんは優し
すぎるのよ

そこがかれんの
良いところなん
だけど♥

のぞみなんて
いつもいつも
食べるだけ
なんだから

そんな事
ないわよ





うう...



わ
わ
わ
わ
わ

ね...ねえ こまち?
できれば他の事に
してほしいんだけど
.....



あ
やっぱり
くるみさんの
方がッ.....

しし

めめ
うう

わかったわよッ
やればいいんでしょ
やればッ!



まったく…

変な事ばかり
させるんだから
……

ドキ
ドキ

んっ…



わの…
私の…

ついさっきまで
メソメソしてた
くせに…

オ…オナニーが
見たい…なんて
…

そんなに
見つめられると
……

ゴッ
ハッ

ドキ
ドキ

ドキ
ドキ

ドキ
ドキ

はッ

そんな事言っ
てもう濡れ始め
てるじゃない

んッ

こ…こまち…
そんな…見ないで
よ…

私にされるより
感じてるんじゃないの？

違…ッ

くう…

は…恥ずか
しい…ん…
…から…



その瞳に
見つめられる度に

私のココは
ますます熱く
なってくるの



あなたの唇から
漏れる吐息も
熱く変化してる事

視線に憂いを
帯びる事



見えて…
私はあなたに
見られて

触れられなくても
私はこまちで
感じてるのよ



はっ…

…んあ…ッ

はッ…あ

アッ

ンッ

そんなにシーツを汚しちゃうほど気持ちよかったの？

でもすごく素敵だったわよ
かれんのオナニー♥

見て…
私もこんなに濡れてしまったもの

ジッ…

……ッ

じゅっ
しょり

それじゃあ今度は私の指でイッてくれるかしら

ね？
かれん♥



くっんッ...

あッ...

ぬ
んッ
んッ
んッ

んッ
んッ
んッ



だ...
大丈夫...よ

自分で
助けそう?

あら
膣内
がビク
ビク
痙攣
して
るわ

かれん
たら
入れ
ただ
けで
軽く
イッ
ちゃ
った
のね
♥



んッ
んッ
んッ



んッ
んッ
んッ



んッ…く

ふッ

んうッ

こま…ち…
膣内…指…動かさ…
…力…入ら…い

あ…

ああッ

あッ

そんなこと
してないわよ
動かすっていう
のはこう—

ひうんッ





やだッ：
そんな強く
したら…

動けなくなる
じゃ…

…ない…

ん？



もう…

いつもいじわる
するんだから…

はッ

あむッ

そうやって
私の反応
楽しんでる
のね



うふふ…
それじゃあ
ココはどうかしら
？

あ…ダメッ

そんなこと
したらまた私…

まあ♥

かれんのおツユが
こんなにたくさん♥

おぼ

ちよッ…
何!?

あなた
まさか…ッ



なッ

何やってるの
こまちッ!



ぷん

ふふッ
かれんの味が
するわ♥



トロッ

ぐんぐん

や...
やめなさいよ
そんな汚い...ッ

そんなこと
ないわよ
いつも飲んでる
もの私

そッ...
それは...

それより...
ね?
か・れ・ん♥

あッ...
ちよつと
...ッ!



そうね♥

ぬぐ

ぬぐ

もうがまん
できなかつた
もの♥

ぬぐ

ぬぐ

んッ…

ぬぐ

ん…♥



あッ…



かれんの…
とっても熱いわ♥



こまちの
だつて…♥



ねえ 見て
かれん

いやらしく
糸をひいてる♥

は
ンッ

あッ
…



今日は少し
はげしく
しましようか

んッ

ふッ

んうッ

くッ

それって
どういう
ミんうッ

んうッ



かれんに
気もちよく
なっってもらい
たいって事よ♡

こんなのは
どう?

くる



えッ?

ん

よく見えるでしょう？
かれんと私が
キスしてるところ♡

やだ！っ

なんて
いやらしい
眺めのなの…

二人の唇が
淫らにからみあっている
のがはっきり見えるわ…



こま...ち
ダメッ...

こんな...
こんなの
って...

私...ッ

興奮するでしょう？
かれんの中から
溢れてくるの
感じるわよ

そんな...

だって...
感じてしまうのよ
.....

私...こまちと
こんな...いやらしい
ことしてる...って



気持ちいいんでしょ?

私といやらしいことするのが

そう...よ



こまちとだから...

私は...こんなにも...淫らに...なれるのよ...

私も...よかれん

だから...二人で...

一緒...に...



さっきのくるみの話…
あれ演技でしょう？

え!?

ど…どうして
わかったの？

もうやめて
よね
あんな事

ごめんなさい…
ほんの冗談の
つもりだったのよ

けしてかれんを
疑ってる訳

そうじゃないのよ

そうじゃなくて
私はただ…

たとえウソでも
あなたを——



かれん...

カアアアッ

こまちを
悲しませたくないのよ

キアッ



愛してるわ
かれん♥

ありがとう♥

シラァァァ...

キ♥♥

ATOYAKI

はじめましての方ははじめまして、そうでない方はおひさしぶりです。東磨です。

前回に引き続きのこまかれ本、いかがでしたでしょうか。
今回、目合わせのバリエーションを考えて思ったのは、
合わせる際に男ならある程度角度を変えられるのに対し、
女性はそうではないという点。
『この角度は無理じゃね?』とか『これはくっついてないよな…』とか。
リアルに考えるとあまりに制約が大きいなあと。
実際に聞いてみるのが一番な訳ですが、
ピアノの知り合いがいる訳もなく、いたら聞いてみるのか?という
そんなの聞ける訳ねえじゃん…という事で

『エロマンガはファンタジー』

というエロ漫画においての免罪符を心の支えに描いてました。
少しでもエロく感じていただければ幸いです。

前回、ペン入れをデジタルにという話をしましたが、
以前と比べて慣れてきたように感じます。
まあ、アナログ時と比べて作業時間が格段に増えているのが
まだまだだなあ…と。
日々精進ですね。

5は今回のGoGo!で終わってしまうようで、残念です。
新作はどうなるのかな…
ヒロインは3人みただけど、まだ詳しい情報を知らないで期待と不安が半々です。
私としては、只々百合要素を期待するのみ。
…間違った見方だというツッコミは無しの方で。

さて、今回はこの辺で。
それではまた、次の本でお会いしましょう。

東磨 樹

奥付

発行：樹堂

著者：東磨 樹

発行日：2008 12 30

印刷：(株)クラビス・フリーク

mail:itsuki-t@1999.club.ne.jp

HP:http://itsukidoh-sakura.ne.jp/



for adult only
2008 12 30
presented by itsukidoh